

『らくらくノート』有効活用術！

兵庫県揖保郡太子町立太田小学校教諭 久保 亮

①はじめに

私はここ数年、子どもたちの計算の力が落ちてきたのを実感しています。

学校週5日制やゆとり教育による授業時数の削減によって、学校で計算練習に割く時間が確実に減りました。しかも、今回の学習指導要領の改訂で追加された内容を指導するには、増えた授業時数では足りません。この結果、ますます、計算練習に割く時間数が減りました。

ちょうど今担任している6年生は、改訂前の指導要領で学んできた子どもたちです。今までは、計算は電卓を用いてよいという単元も多かったのですが、今回の教科書からは、自分で解くように変わったため、計算できにくい子どもが多く、困っていました。

計算の力をつけるには、反復練習をするしかないということは昔から言われています。そこで今年は、「計算問題をとことんくり返して解くことで、不足した計算力をアップする」という目標を決め、実践してみました。

②今までの計算ドリルの使い方

新学社の『くりかえし計算ドリル』は従来から使用していました。1回目は学校の宿題で出して教師が採点し、直しをさせ、2回目は、夏・冬休みの宿題でドリルに直接書き込ませ、

答え合わせを家の人にしてもらうという方法をとっていました。しかしながら、どうも、子どもたちの計算力が上がったようには思われませんでした。

③これは便利！ 『らくらくノート』

▶▶今までのノートは…

今までドリルの答えは、方眼ノートを使い、そこに書かせていました。しかし、この方法だと、次のような不便がありました。

- ①子どもによってノートの書き方がまちまちである。
- ②ノートの書き方の指導を徹底するのに時間がかかる。
- ③子どもによってはノートに詰めて書くので間違えやすい。
- ④採点するのに時間がかかる。

従来のノートだと、ノートを横進みに使い、途切れたら下の段に移る書き方、ノート中央を区切って2列にする書き方などまちまちで、ノートを集めて丸を付けづらい面がありました。

また、ノートの書き方を統一しようにも、それだけでかなりの指導時間が割かれていました。

▶▶『らくらくノート』は…

その時、目にしたのが、『らくらくノート』です。一見普通のノートのように見えますが、これが大違い。便利な点をいくつか挙げてみると、次のようなものがあります。

- ①『くりかえし計算ドリル』に完全に準拠している。
- ②あらかじめ番号がふってあるので書きやすい。
- ③計算問題では、スペースにゆとりがあるので、間違えにくい。
- ④ノートに表やグラフが印刷されている。

このノートであれば、ノートを集めた時の採点のわずらわしさが軽減されるだけでなく、子どもたちもノートの効果的な使い方を知らず知らずのうちに習得することができます。

私はこのノートを見た時、「これだ。今年はこれでいこう!」と思いました。

4 具体的な活用例

指導にあたっては、以下のようなものを準備しました。

【準備】

『くりかえし計算ドリル』に、3回くり返して練習できるように表を作成し、ドリルの表紙に貼り付けました。答えは、はずして名前を書き、教師が保管しておきます。

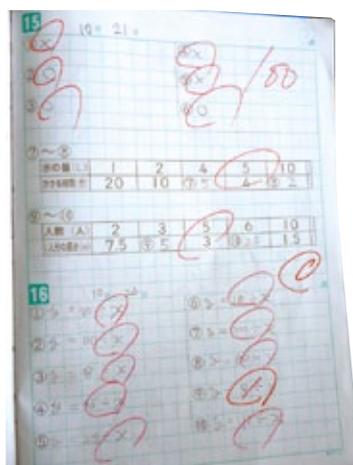
次に『らくらくノート』を2冊用意しました。1冊目は1回目用、2冊目は2回目用です。



▲表を貼り付けた『くりかえし計算ドリル』と『らくらくノート』2冊

【流れ】

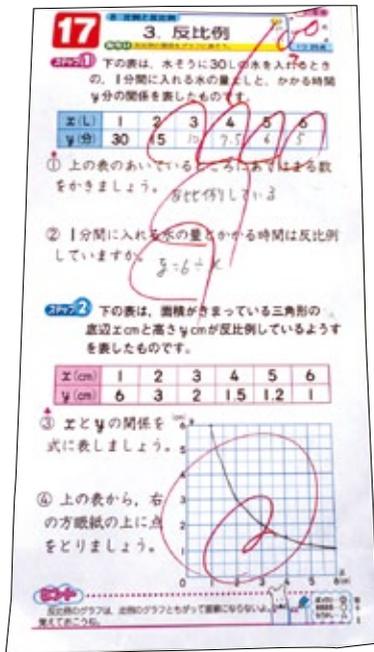
- ①授業後、1回目を『らくらくノート』の1冊目にします（授業の空き時間や宿題）。採点は教師がします。



- ②1回目に合格した子どもは、2冊目のノートで2回目に取り組みます。答え合わせは子ども自身が行い、教師が確認をします。



③ 2回目に合格した子どもは、3回目の答えを直接ドリルに書き込みます。



以上のような方法で4月から、くり返し取り組んだ結果、確実に計算力がアップしていきました。また、計算の速さだけでなく、間違いも回を追うごとに少なくなりました。

このドリルは良問が多く、解けば解くほど効果的に計算力が身につくようになっていきます。

その上、単に計算問題だけでなく文章問題も

網羅しているので、解けば解くほど力がついていきました。

5 子どもたちの感想

- ◆ わからないところがあっても、2回目、3回目とやっていったら、難しいはずの問題が簡単に思えてきた。
- ◆ 計算スピードが速くなった。
- ◆ 間違いが少なくなった。
- ◆ 5年生の復習問題やわかりやすい解説、ヒントなどをくれるから、コツがつかめて、スラスラ計算できた。
- ◆ 3回もすると暗記するほど頭に入った。
- ◆ 筆算でやっていた計算が頭の中でできるようになった。

6 終わりに

今年度、私は計算のくり返しに重点を置いて指導してきました。4月から開始して、確実に計算力が向上してきています。それは、子どもたち自身が一番感じているようで、開始当初は、なかなか2回目、3回目に取り組みにくかったのが、今では目を輝かせて計算に取り組んでいます。「計算が楽しくてしょうがない」という声も聞かれました。

授業の中での作業になると、早く終わってしまう子どもとなかなか終わらない子どもとの差が大きく、早く終わった子どもは何をしていいのか戸惑ってしまうということが、以前はありました。しかし、今は時間ができると、2回

目，3回目を黙々とするようになり，どの子ども時間を有効に活用できています。

このように『らくらくノート』を使うことによって，効率的に計算問題の反復練習ができました。



一方で，子どもによっては3回は多すぎるという感想も出ています。高学年では，反復練習に加え，いろいろな問題にチャレンジすることも重要になってくるので，今後検討していきたいと考えています。

